

稲羽東小学校の新しい年度を迎えて

稲羽東小学校校長 山田宏子

「おはようございます!!」

朝の児童玄関は、子どもたちの元気なあいさつであふれています。

本年度は、21 名の新入生を迎え、全校児童 121 名でスタートをしました。

小規模特認校になってから 3 年目を迎えます。小規模特認校である本校は 3 つ柱を大切に学校の教育活動を行っています。

1 つめの柱 「たてわり活動」(異学年集団)

「どんぐりグループ」という 1 年生から 6 年生までが一緒になった小グループを作り年間を通じて活動しています。6 年生のリーダーが中心となった活動は、「あそび」だけにとどまらず、「話し合い」「道德の授業」など様々なことに取り組んでいます。R6 年度の途中からは、「掃除」もどんぐりグループで行い、みんなで力を合わせて取り組んでいます。多様な人間関係を学ぶきっかけにもなっています。

2 つめの柱 「ふるさと学習」(総合的な学習の時間)

地域を題材に、「人・もの・こと」に関わりながら探究的に学んでいます。R6 年度は、3,4 年生では学年ミックスで小グループを作り、「稲羽東小の歴史」「稲羽の歴史」「稲羽の産業」を探究しました。また、5,6 年生では「各務原のものづくり」「各務原の農業」「各務原のまちづくり」を探究しました。そして年度末には、一人一人が新聞にまとめました。「ぼくたちの住んでいるところに、こんなにいろいろな人やものがあるとは思わなかった」という驚きの声をあげていた 6 年生の子もいました。総合的な学習の時間は、国語や算数、社会科等で学んだことを生かした学習ができます。

3 つめの柱 「ICT 教育」

授業中での ICT 機器の有効な活用の仕方を考えて授業づくりをしています。また、市内の同じ小規模特認校である緑苑小学校と結んでオンライン授業を行っています。他校の仲間と一緒に学習できることで、今までにない考えに触れることができ、よい刺激となっています。R6 年度は、グループでの交流も取り入れて、オンライン授業でも一人一人が活躍できる場を多く取り入れています。

どの教育活動もまだまだ充実させていく途中です。子どものよさを伸ばすことを大切に、今年も教育活動に取り組んでいきます。

